

令和3年度 国立吉備青少年自然の家教育事業
ボランティア自主企画事業

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

国立吉備青少年自然の家で活動する法人ボランティアが主体となって事業を行うことにより、法人ボランティアとしての自覚や自主性を磨くことを目的とする。

2. 事業の概要

（1）事業名

「やってみよう！できっこないもできるはず！in 吉備」

令和3年度大学生のためのボランティア活動推進事業において企画したキャンプ

（2）期日

令和4年1月15日（土）～16日（日）

（3）参加者

① 募集対象・人数

県内の小学校4・5年生 16人

② 参加人数

企画ボランティア13人 小学校4・5年生 15人

（4）企画・運営のポイント

- ① ボランティアコーディネーター（以下ボラコー）は、自主企画事業の趣旨や企画事業の目的に沿った事業運営ができるように、法人ボランティアとの相談の機会（電話やメール、会議、オンライン相談への参加等）を多く取るようにした。
- ② 法人ボランティアが利用団体として手続きをする経験を積むことができるように、打合せや購入物品の申請などの書類提出や手続きについて指導した。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、従来通りの企画や宿泊形態をとることはできない状況であった。ボラコーは法人ボランティアや児童の安全を第一に考えるよう助言し、児童の健康状態や緊急時の対応について確認した。
- ④ 法人ボランティアが児童の活動を実際に体験し、感じたことや改善点を修正できるように、事業当日までに2回の事前研修の日程を確保した。また、事業当日も前泊をして余裕を持って準備できるようにするなど、法人ボランティアが自信をもって事業を運営できるようにした。

3. 活動の内容等

(1) 日程

1月15日(土)		1月16日(日)	
10:00	受付・開会式	6:45	起床・洗面・掃除
11:00	アイスブレイク	8:00	朝食
12:00	昼食	9:00	野外炊事
13:00	オリエンテーリング	13:30	キャンドルサービス・振り返り
17:30	夕食	15:30	閉会式
18:30	振り返り		
20:00	入浴・振り返り		
21:00	就寝		

(2) 活動の状況



【開会式】



【アイスブレイク①】



【アイスブレイク②】



【振り返り①】



【オリエンテーリング①】



【オリエンテーリング②】



【野外炊事①】



【野外炊事②】



【振り返り②】



【振り返り③】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足 93% やや満足 7%

(2) 参加者の声

- ① 最初は、班の人と仲良くなれるか心配だったけど、仲良くなれてよかった。
- ② 時には失敗することもあったけど、あきらめずにいろんなことにチャレンジしてチームワークを深められたし、思い出を作れた。
- ③ このイベントに参加して、様々なことに取り組むことができてよかった。
- ④ これからは、できなくても何回もチャレンジしようと思った。

(3) 成果

- ① 安全管理や配慮事項について法人ボランティアとボラコーで共有することで、参加者に安心して楽しんでもらえる事業を提供できた。
- ② 異なる学年の法人ボランティアが参加し、これから法人ボランティアの中心となる学年にも役割を振ることで、今後のボランティア活動への意欲の向上につながった。
- ③ 昨年度の反省を生かし、荒天時や新型コロナウイルスの影響で日帰りになった場合も想定して、準備や計画を行うことができていた。年度が替わっても引継ぎが綿密に行われ、運営の質を向上させることができた。

(4) 課題

- ① 子供の活動を優先したことで活動時間が伸びてしまい、後の予定に影響が出てしまう場面があった。本事業だけではなく、他団体の活動やお迎えの保護者など、様々な部分に影響を及ぼすので、余裕を持った時間設定を心掛けさせたい。
- ② 開催要項やチラシなどの作成について、法人ボランティアと施設職員で分担をしなければならないことが多く、連絡に時間差ができ、告知や発送が遅くなってしまった部分がある。社会情勢により急な変更もあることを考えながら、計画や準備をする必要がある。

担当：企画指導専門職 延原 正章